

あなたは、ご自宅から出火させない自信がありますか？

万が一出火した場合、その火 あなたは、消せますか？

高坂丘陵地区では、幸いにして、これまで大きな火災に見舞われることはありませんでしたが、万が一火災が発生した場合、延焼により甚大な被害を受けます。

埼玉県の令和5年の火災統計によると、埼玉県内での火災の全死者数83人のうち、65歳以上の高齢者の死者数は52人で、全体の62.7%と高い割合です。

火災統計では、住宅火災での出火原因として、台所の「こんろ」、居室や寝室などでの「たばこ」、「電気配線」、「ストーブ」、家の周りなどでの「放火」があげられています。

火災から、あなたとあなたの大切な人の身を守るためには、火を出さないための日頃の備えと心がけ、そして、いざ火災が発生した時の早期発見と初期消火が大切となります。下記は、皆さんに、ぜひ守って頂きたい主な行動をあげてみました。ご理解・ご協力をお願いします。

- ・調理での注意点 = 火の消し忘れや火をつけたまま離れない。また、可燃物が接触（着衣着火に注意）したり、近くに置いたりしない。

- ・ストーブの上や近くでの洗濯物の乾燥など、不適切な使用はしない。

- ・すぐ手が届く場所に「消火器」を設置する。

※ご自身の体力にあった取り扱える消火器を選ぶ。例 = 小型を数本用意

- ・電気機器 = 誤った使用をしない。電気配線の経年劣化に留意する。

- ・「たばこ」は、所定の場所で、しっかり消火し、「寝たばこ」はしない。

- ・放火されないよう、家の周りには、燃えやすいものは、置かない。